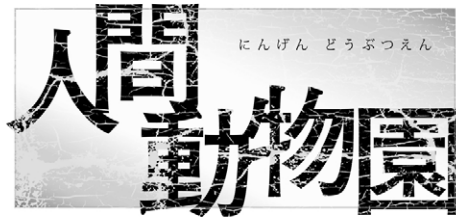


ドラマ

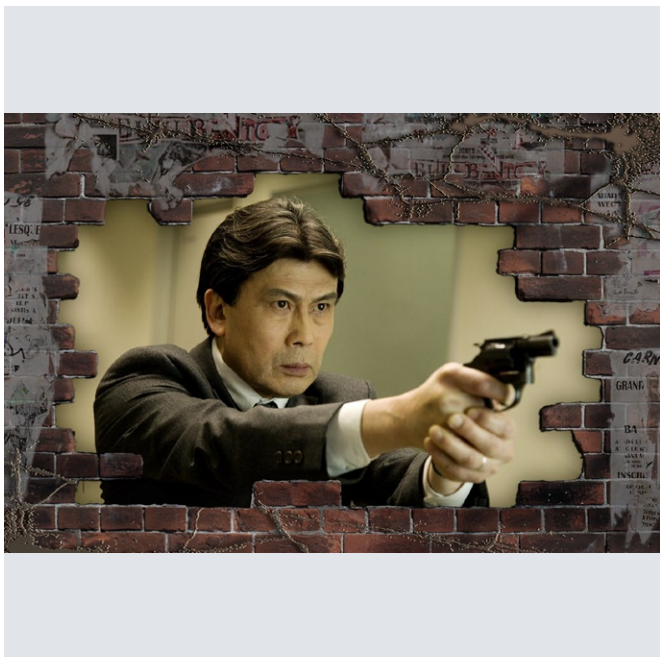
ドラマW



7月19日(日) 夜 10:00

HV

10人の容疑者！本当の誘拐犯は誰なのか？二転三転の誘拐劇の果てにあるものは…



松本幸四郎が初の刑事役でドラマWにも初登場！原作は、直木賞受賞作家・連城三紀彦の「人間動物園」。ある“誘拐事件”をめぐる、犯人と刑事達との壮絶な盗聴合戦。次から次へと浮上する容疑者たち。誘拐劇に隠された犯人の目的とは？本当は誰が“誘拐”されたのか？刑事はなぜ狙われたのか？愚直なベテラン刑事が誘拐事件の真相を解明するまでを、複雑に入り組んだトリックと二転三転の手に汗握る展開で描き出す。

監督は、映画『うた魂♪』『雨の町』の気鋭・田中誠。ほか出演は、江守徹、高畑淳子、山本太郎、小島聖、三田村邦彦、東ちづる、永島敏行、新井浩文、佐藤藍子、温水洋一らオールスターキャストが勢ぞろい。物語の冒頭から張り巡らされた様々な“伏線”が、ラストの大どんでん返しに繋がっていく、驚愕のヒューマンサスペンス！

<ストーリー>

疑惑渦中にある次期首相候補の幼い孫娘が誘拐された。被害者宅の至る所に、犯人により盗聴器が仕掛けられた為、身動きがとれない警察。追い詰められていく母親。その政治家の息子であり、誘拐された少女の父親は、既に妻と離婚していたが、何とか身代金を工面して密かに元妻のもとへ向かう…。現場で犯人からの連絡を待つ刑事は壮大な誘拐計画の裏側に隠された真実を、次第に見破っていく。誘拐事件を裏で操るのは誰か？果たして警察署は爆発されるのか？30年前に刑事が関わった誘拐事件との関連は？そして二転三転の誘拐劇の果てにあるものは？“動物園の檻”に入れられた人間は、いったい誰だったのか？



スタッフ・キャスト／原作：連城三紀彦「人間動物園」（双葉社刊）

監督：田中誠（『タナカヒロシのすべて』『雨の町』『うた魂♪』）

脚本：鴻池康久

音楽：栗山和樹

出演：松本幸四郎、江守徹、高畑淳子、山本太郎、小島聖、三田村邦彦、東ちづる、永島敏行、温水洋一、新井浩文、佐藤藍子、銀粉蝶、岩田さゆり、江口のりこ、樋口浩二 ほか

制作協力／オフィス・シロウズ

関連ミニ番組／ドラマW「人間動物園」ここが見どころ

番組間随時

●新規・追加登録の方はこちら→<https://prgnews.wowow.co.jp/>

☆番組写真・資料のお問い合わせ先 ⇒ TEL 03-4330-8155 FAX 03-4330-8156（番組情報チーム 佐藤・及川・大沢）

☆一般の方向け ご加入・番組に関するお問い合わせ先 ⇒ TEL 0120-580-807（WOWOWカスタマーセンター／年中無休9～20時）

公式ホームページ ⇒ wowow.co.jp

*都合により、番組タイトル、内容、放送日時を変更する場合があります



ドラマW「人間動物園」

登場人物紹介



発田元雄 (松本幸四郎)

所轄の刑事。30年前の誘拐事件の為、出世の道を閉ざされた。捜査のプロだが今でも拳銃を握れない



発田久美子 (高畑淳子)

発田に長年寄り添う妻。夫のことを気遣い、刑事の妻として家庭をしっかりと守っている



家野輝一郎 (山本太郎)

誘拐されたユキの父親で、政治家・家野大造の息子。芳江とは離婚している



梅原芳江 (小島聖)

家野輝一郎の元妻。留守番中の4歳の娘・ユキが誘拐されたと訴えるが証言に不審な点が？



坂上礼子 (東ちづる)

芳江の隣人でおせっかいな独身女性。ユキの誘拐を察知し、なぜか発田を指名で通報してくる



発田りか (岩田さゆり)

発田のひとり娘で今どきの高校生。小遣いをねだる一方で、父親の体を気遣う優しい一面も



家野絹子 (銀粉蝶)

家野大造の妻。以前から輝一郎夫妻と折り合いが悪く、ユキの身代金1億円を大造が出すことにも反発



家野大造 (江守徹)

収容容疑がかけられている次期首相候補。元警察官僚で、誘拐されたユキの祖父



朝井梁次 (新井浩文)

発田の部下。短気やや軽率。犯人に盗聴されている芳江と、ある手段で連絡をとり続ける



篠原美晶 (佐藤藍子)

県警特殊班の優秀な女性刑事。芳江と入れ替わりで梅原宅に潜入し、事件の真相に迫るが…



国島栄二 (樋口浩二)

県警特殊班の刑事。盗聴機器のプロであり、誘拐犯の動向を探る



華野一典 (温水洋一)

発田の過去を知る同僚のベテラン刑事。発田を気遣いつつ、ユキの誘拐捜査に加わる



室伏達夫 (永島敏行)

家野大造の孫・ユキの誘拐事件を追う新聞記者。発田とは因縁がある？



成木竜三 (三田村邦彦)

県警の警視。誘拐事件の指揮を執る。家野大造ともつながりがあり、なぜか発田を捜査から外そうとする

原作者紹介

連城三紀彦

主な作品に
『宵待草夜情』(1984) 吉川英治文学新人賞受賞
『恋文』(1984) 直木賞受賞
『隠れ菊』(1996) 柴田錬三郎賞受賞
『造花の蜜』(2008) など



(双葉社刊)